

黒蝶倶楽部

連載シリーズ vol. 1



烏賊松

この世は不思議に満ちている

期せずして常人とはかけ離れた能力を有した人間がいる事を心してほしい

黒蝶倶楽部

ここにはそんな不思議な力を持つ9人のメンバーが

夜な夜な自らの能力を使った体験談を語り合う秘密クラブである

人智を超えた力を持った時、人はその力を何に使うだろうか？

いや...
そんな事は改めて問うまでもないだろう

人間は欲望に正直な生き物だ

さて...

今宵、秘話を披露してくれるのは.....

誰かな？



俺の標的になったのは
今や天下無敵の
アイドルグループと
なった



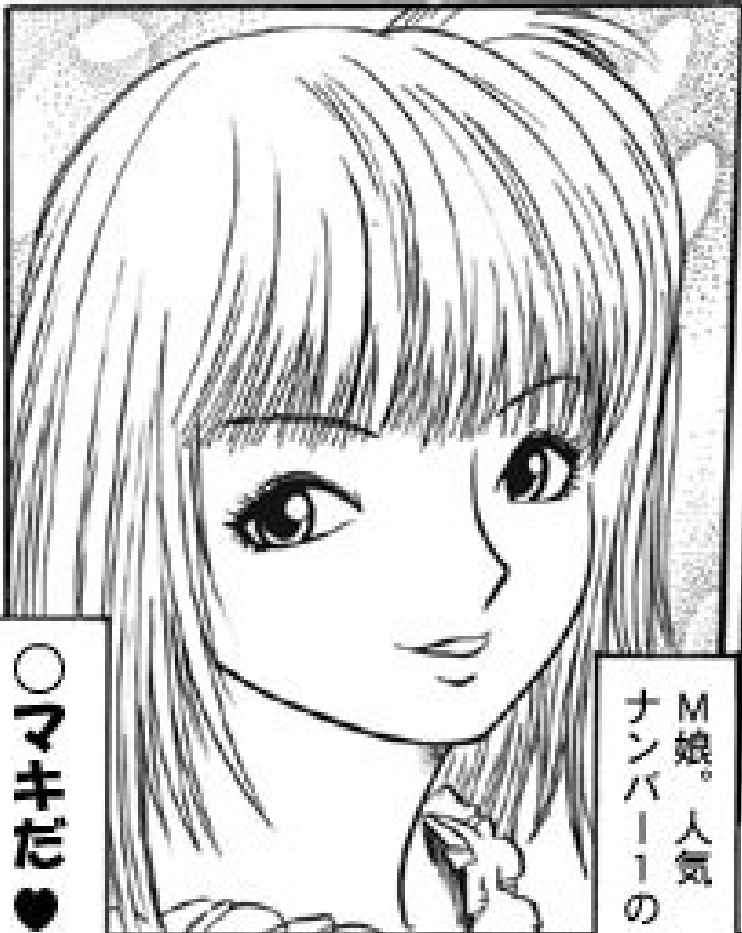
その中で
今回頂いたのは



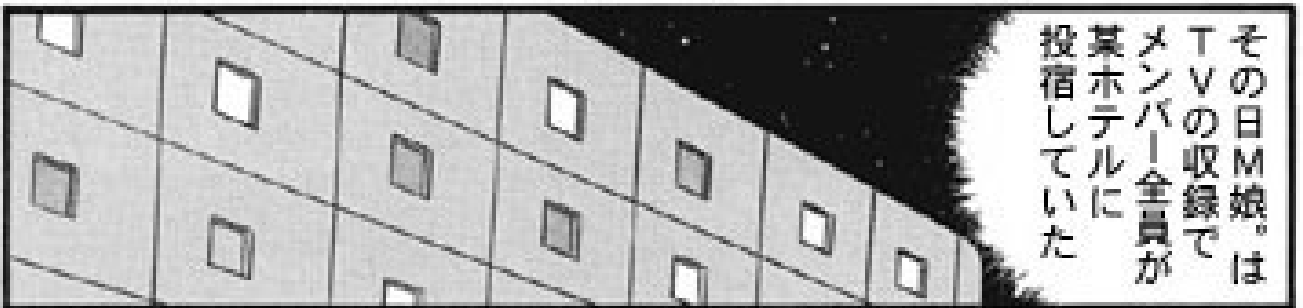
**M
Ming
娘。**

M娘。人気
ナンバー1の

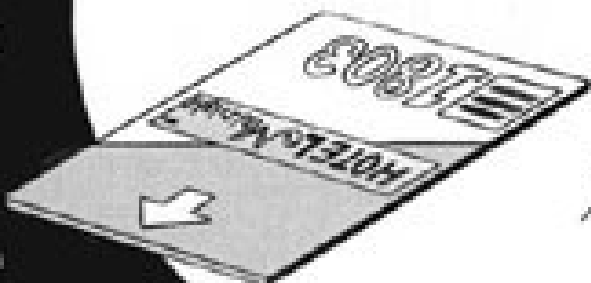
○**ムキ**●



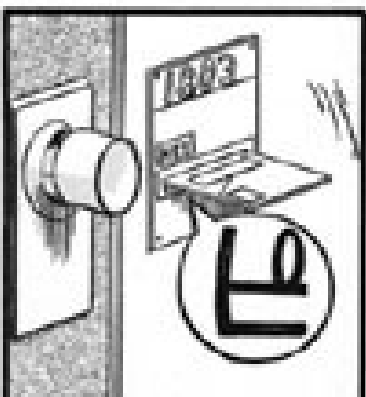
その日M娘。は
TVの収録で
メンバー全員が
某ホテルに
投宿していた



ふんわか



ふんわか





俺は
○マキの部屋へ
侵入した



フロントで
部屋のキーを
拝借し



俺は人目を気にせず
どこへでも大胆に
入り込める

そう——

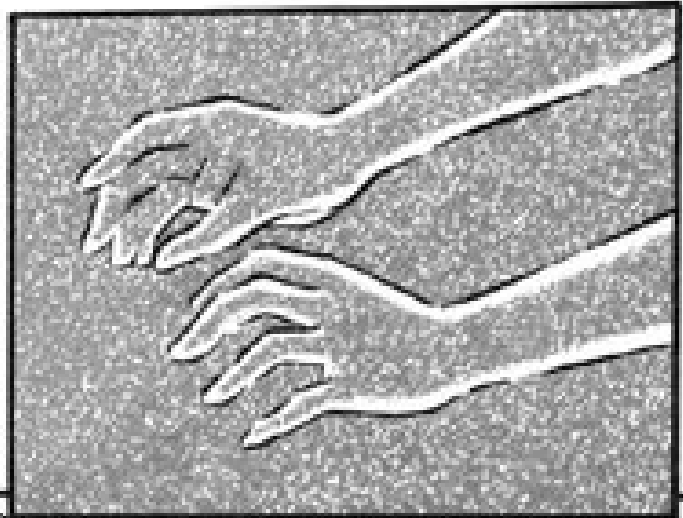
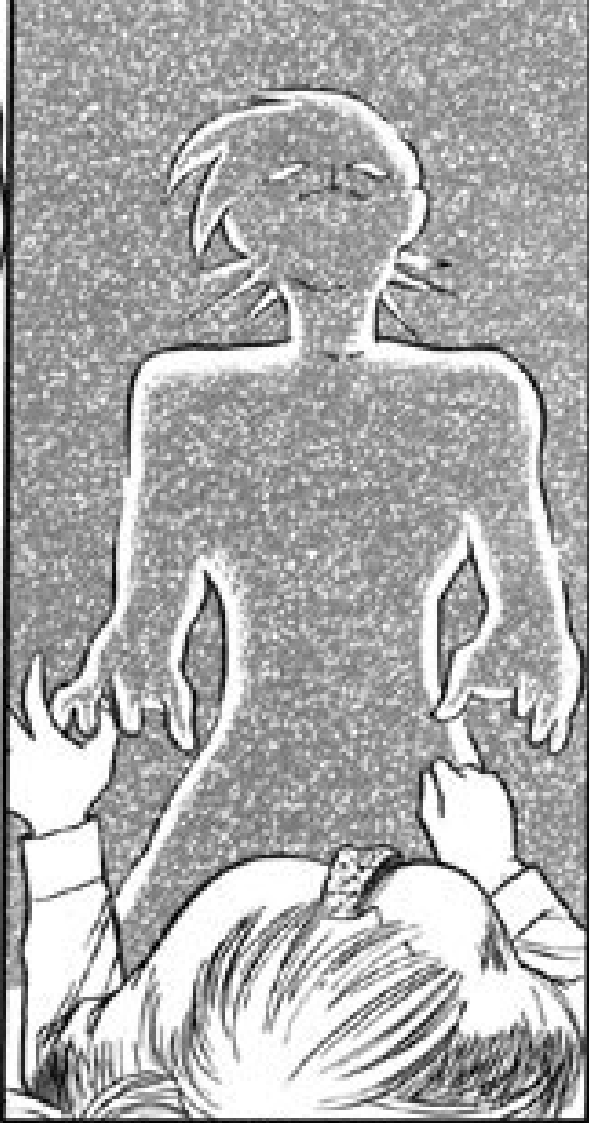
幸いにもメンバー
はそれぞれ個室を
与えられていて



部屋に忍び込んで
さえしまえば
こちらのモノだった

俺は
透明人間に
なれるのだ







○マキは必死で抵抗したが所詮は女の力…

男の力に
適うはずも
無い……



きゃあきゃあきゃあ

それに
さすがはM娘が
泊まるホテルだ

多少大声で叫んでも
声が外へもれる事は
無い

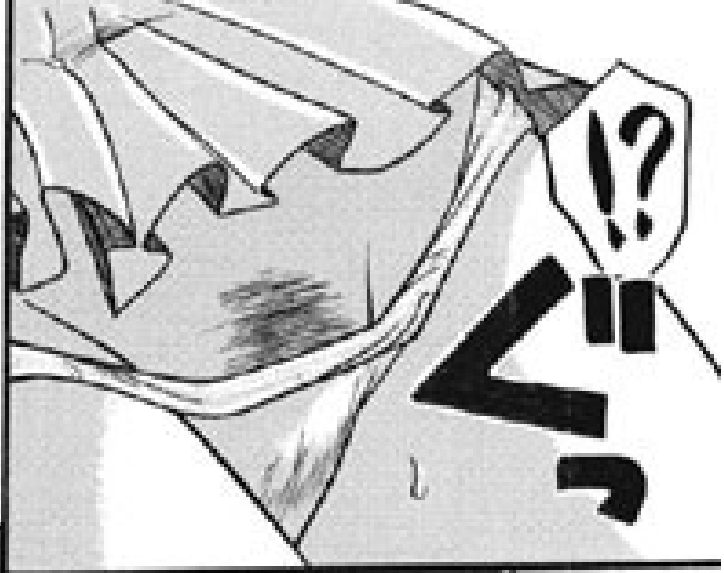
ああん！

○マキの
おっぱいは
大きくはなかつたが

形の良さと
敏感な乳首が
舌先を楽しませて
くれた

は…

あはは



ま...ま...ま...



!! だめえ



ズン
カ

ズン
カ





あらかじめ
部屋のドアは
針金で完全に
固定しておいた
から

そして俺は
○マキをベッドへ
連れ戻し
朝までたっぶり.....

外へは絶対
出られないように
なっていたのさ

